

事務事業名	春江坂井学校給食管理事業			事業コード	10060405111
所管部署	春江・坂井学校給食センター	電話	51-6868	記入者名	松浦ひな子
事業対象	園児・児童・生徒				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	学校教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	給食の配送業務
根拠法令	有	学校給食法・学校給食衛生管理基準			
根拠例規	有	坂井市立学校給食センター条例・坂井市立学校給食センター条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市総合計画・坂井市教育振興基本計画・坂井市食育推進計画			
事業の概要	成長期にある児童生徒の心身の健全の発達のため、「児童・生徒が生涯を通して健全な生活を送る基礎を培う安全で美味しく栄養バランスのとれた給食の提供をする」ことにより、健康の増進、体位の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付けられる学校給食をめざす。				
	春江坂井学校給食センター管内の幼稚園7園（内2園休園）小学校7校、中学校2校の児童、生徒、職員の給食を約4,000食提供しています。				
事業の目的・事業の概要等	<ul style="list-style-type: none"> ○需用費 243,377千円 ・消耗品費 4,688千円 ・燃料費 39千円 ・光熱水費 38,042千円 ・修繕料（施設等修繕、給食備品修繕他） 566千円 ・賄材料費（給食材料費） 200,042千円 ○役務費（検査手数料・自動車保険料他） 1,497千円 ○委託料（害虫駆除委託料他） 28,687千円 ○使用料及び賃賃料 83千円 ○工事請負費 1,058千円 ○備品購入費 198千円 ○負担金（学校給食センター連絡協議会負担金） 11千円 ○公課費（自動車重量税） 8千円 				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	学校給食費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	28,687千円	15,779千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	243,376千円	217,411千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	1,496千円	1,199千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,358千円	256千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	274,917千円	234,645千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	21.00人	147,588千円	21.00人	149,289千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	19.00人	47,975千円	18.00人	36,936千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	40.00人	195,563千円	39.00人	186,225千円	人	千円	人	千円
	総事業費	470,480千円	420,870千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円				
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円				
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			202,037千円	185,864千円	千円	千円				
一般財源		268,443千円	235,006千円	千円	千円					
財源合計	470,480千円	420,870千円	千円	千円						

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度		
成果	%	目標値	45.0	達成率 45.0	達成率 45.0	達成率 45.0		
		実績値	45.5	101.11	41.4	92	45.4	100.89
成果	件	目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						
活動	件	目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値	8	---	11	---	28	---
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						

すぐにできる改善提案	平成26年1月から新センター稼働。今まで以上の安全で安心できる給食の提供を実施します。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	稼働後、新施設機材等に不慣れな面もあり、業務に時間がかかったが、徐々に慣れ、定時に終了することができた。児童生徒から、給食がおいしいとの意見が多くなった。		
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	配送業務のみ民間委託しているが、調理等に関しては当面直営で実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	平成26年度で正職の早期退職者が3名いることから、午後の洗浄に影響がでるため、月額臨時職員の配置が必要となる。			
すぐにできる改善提案				
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度 -- 年度				